

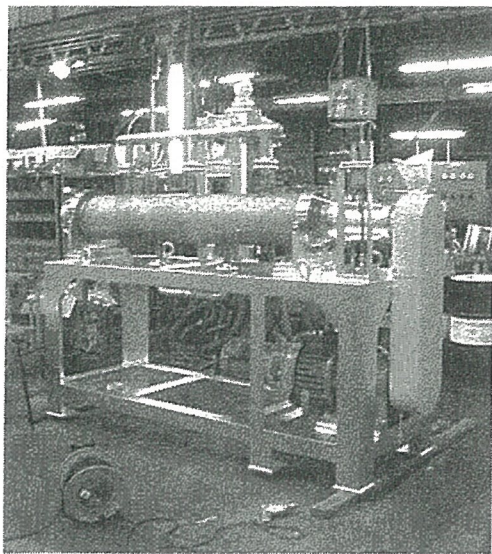
平成28年6月23日

日刊工業新聞 掲載記事

社外人材活用 海外加速

プラント向け装置 東南アの販路開拓

櫻製作所



櫻製作所のプラント機器

櫻製作所（大阪市淀川区、井上正基社長、06・6302・5321）は、官民連携組織「新輸出大国コンソ

ーシウム」の支援を活用し海外展開を加速する。東南アジアを中心に海外の展示会への出張や市場調査、販路開

拓を進めて、2016年3月期の海外売上高1億5000万円を年3割増のペースで引き上げる。

同社は食品・化学・

環境・水処理などのプラント向けに熱交換器や薄膜式濃縮粉末化装置などを製造する。ユーザーとなる化粧品や食品などの生産拠点が東南アジアで増加傾向にあることから、同コンソーシアムの支援制度の中の「機械・環境

分野のハンスオン支援事業」に応募し採択を

受けた。支援により、櫻製作所は日本貿易振興機構（ジェトロ）を介して海外に知見を持つ商社やメーカーのOB人材を期限付きで受け入れる。この人材を活用し、海外でのニーズの

見極めを進める。台湾やシンガポールの展示会にも出展を決めた。井上社長は、「中小企業ながら海外展開のチャンスをもたらした支援を生かして果たしていきたい」と意気込む。